

# M I Z U K I

医療連携室ニュース「みずき」

〔volume〕

25

2014 SPRING

## contents

新任のご挨拶

新部門発足のお知らせ

診療科名称変更のお知らせ

「連携医療機関登録制度」の登録募集

編集後記

## JR高槻駅からのアクセスが便利になりました!

これまで試験運用だった無料シャトルバス（本院7号館北側ロータリー⇄JR高槻駅）は、正式に運行する運びとなりました。JRをご利用になって本院にお越しになる患者さまにお知らせください。

- 運行曜日：平日
- 運休：・土曜・日曜・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）  
・本学創立記念日（6月1日）

※付添いの方・お見舞いの方も無料でご乗車できます  
※来院目的以外の利用はご遠慮ください

	JR高槻駅発 (高槻駅発車時刻)	大阪医大発		JR高槻駅発 (高槻駅発車時刻)	大阪医大発
1便目	9:00	9:15	9便目	12:35	12:35
2便目	9:20	9:35	10便目	12:40	12:55
3便目	9:40	9:55	11便目	13:00	13:15
4便目	10:00	10:15	12便目	13:20	13:35
5便目	10:20	10:35	13便目	13:40	13:55
6便目	10:40	10:55	14便目	14:00	14:15
7便目	11:00	11:15	15便目	14:20	14:35
8便目	11:20				

バス乗降場:JR高槻駅南側ロータリー(市営バス3番のりば)



## 新任のご挨拶

### 小児心臓血管外科

平成26年2月1日着任



小児心臓血管外科 科長  
根本 慎太郎  
(ねもと しんたろう)

この度、昭和30年より続く本院心臓血管外科から「小児の心臓手術に特化した専門科」として新たにスタートしました。国内外でトレーニングを積んだ精鋭スタッフが、年間100件余の先天性心疾患の外科治療を展開しております。お子様と親御様の人生に関わる気持ちを大切に、チーム一丸で日々の診療を行っております。

- 専門分野 先天性心疾患に対する外科治療
- 資格 心臓血管外科専門医、外科専門医、循環器専門医、等
- 略歴
 

平成元年	新潟大学医学部医学科 卒業
平成元年～平成9年	東京女子医科大学附属日本心臓血圧研究所および関連病院 心臓血管外科
平成9年～平成13年	米国研究留学（サウスカロライナ医科大学、ベイラー医科大学）
平成14年～平成15年	豪国メルボルン王立小児病院心臓血管外科
平成15年～平成17年	京都大学医学部附属病院 心臓血管外科
平成17年	マレーシア国心臓病センターおよび天理よろづ相談所病院 心臓血管外科
平成18年～	大阪医科大学附属病院 心臓血管外科
- 趣味/特技 (息抜きとして)フィットネスジム通い、読書

### 脳神経外科

平成26年4月1日着任



脳神経外科 科長  
田村 陽史  
(たむら ようじ)

当科は大学病院の特徴を生かし、一般病院では治療困難な脳・脊髄腫瘍、脳血管障害や小児・水頭症患者さまを北摂地域だけでなく当科関連施設より受け入れ治療に専念しております。日々の外来診察では、頭痛、めまいや手足のしびれなど一般的な脳神経症状を訴えられる患者さまも受け入れ、当日検査で迅速に診断および治療を行うように心がけております。

- 専門分野 脳血管障害、神経内視鏡、脊髄脊椎疾患
- 資格 脳神経外科専門医、脳卒中専門医、神経内視鏡技術認定医
- 略歴
 

昭和60年3月	大阪医科大学 卒業
昭和60年6月	大阪医科大学脳神経外科 入局
平成4年8月	大阪医科大学脳神経外科 助手
平成4年9月	米国Barrow Neurological Institute 留学
平成8年9月	北野病院脳神経外科 副部長
平成13年11月	大阪医科大学脳神経外科 学内講師
平成14年8月	大阪医科大学脳神経外科 講師
平成25年5月	大阪医科大学脳神経外科 診療准教授
- 趣味/特技 ゴルフ、スキー、写真、読書

### 病理部・病理診断科

平成26年4月1日着任



病理部・病理診断科 科長  
廣瀬 善信  
(ひろせ よしのぶ)

この度、病理診断という医行為が国民目線で見やすくなるように、「病院病理部」から「病理部・病理診断科」に看板を書き替え、それに伴い病理診断科長を拝命しました。高度先進医療時代においては、時に癌の個別化治療での効果予測までもが病理に求められますが、そのような要請にもできるだけ対応する方針でいます。

- 専門分野 病理・細胞診断学
- 資格 日本病理学会病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医
- 略歴
 

平成5年	岐阜大学医学部 卒業
平成9年	岐阜大学大学院医学研究科(形態系専攻)修了
平成9年	岐阜大学医学部附属病院中央検査部助手
平成16年	岐阜大学医学部附属病院病理部助教授
平成25年	大阪医科大学医学部病理学教室教授
- 趣味/特技 読書、数独

### 消化器内視鏡センター

平成26年4月1日着任



消化器内視鏡センター センター長  
竹内 利寿  
(たけうち としひさ)

この度、消化器内視鏡センター科長を拝命いたしました。当センターは年間約8000件の検査・治療が行われている日本有数の症例数を誇る施設です。この伝統ある当センターを益々発展させるべく、臨床研究などを通し、世界に新しいエビデンスを発信して行きたいと考えております。何卒、御指導、御支援の程、宜しく願いいたします。

- 専門分野 消化器内科学
- 資格 日本消化器病学会専門医・近畿支部評議員、日本消化器内視鏡学会専門医・近畿支部評議員、日本消化管学会胃腸科内科認定医
- 略歴
 

平成10年	近畿大学医学部 卒業
平成10年	大阪医科大学 第二内科 入局
平成18年	大阪医科大学附属病院 消化器内視鏡センター 助教
平成24年	大阪医科大学附属病院 消化器内視鏡センター 講師
- 趣味/特技 料理



## 新部門発足のお知らせ

本院での診療をより充実したものにするために、下記の三部門を設立しました。患者さまご紹介の際はまず各診療科にご紹介ください。

### 炎症性腸疾患センター



消化器内科 科長  
樋口 和秀  
(ひぐち かずひで)

炎症性腸疾患 (IBD) には潰瘍性大腸炎とクローン病が含まれています。いずれも原因不明の慢性難治性の炎症性疾患です。治療法は未確立であり、長期にわたって患者さまを支援する必要があるため、現在、国が行う難治性克服研究事業の中の特定疾患治療研究事業の対象となっております。わが国ではまだ欧米に比べ低率ではあるものの、患者さまの数が急速に増え続けています。原因は依然として不明ではありますが、近年、生物学的製剤に代表されるように治療法の進歩

は目を見張るものがあります。このため、先進的な医療に対応し、より専門性の高い診療を提供す

ることを目的として、「炎症性腸疾患センター (IBDセンター)」を標榜することといたしました。お困りの症例は遠慮なくご紹介ください。どうぞよろしくお願い申し上げます。



消化器内科  
炎症性腸疾患センター

### 脳卒中センター

脳神経外科 科長 田村 陽史 (たむら ようじ)

脳神経外科と神経内科は、今までも24時間態勢で脳卒中患者さまの受け入れを行ってきました。しかし、より広く地域の皆様に知っていただくため「脳卒中センター」を標榜させていただくことにいたしました。

急性期脳梗塞に対してはt-PA投与による血栓溶解療法はもちろんのこと、血管内手術による血栓除去も積極的に行っています。くも膜下出血に対しては、動脈瘤の部位を考慮に入れ、開頭クリッピング術および血管内コイル塞栓術のどちらにも対応できるようにしておりますし、脳内出血に対しても、血腫の大きさ、神経症状に応じて内視鏡的血腫除去を行える体制を整えております。大学病院という役割、救急患者さまを受け入れていないように思われがちです。脳卒中センターを標榜することで地域におけるこの分野の医療に貢献していく所存でございます。

尚、脳卒中に対する知識を高めるために、月に一度(第一金曜日朝8時)、神経内科と合同でカンファレンスを行っております。貴重な症例を提示し、常日頃、脳卒中治療をどう行うべきかチームとして取り組んでおります。30-40分程度のカンファレンスですので、ご興味のある先生はご出席ください。



↑ 前列左端

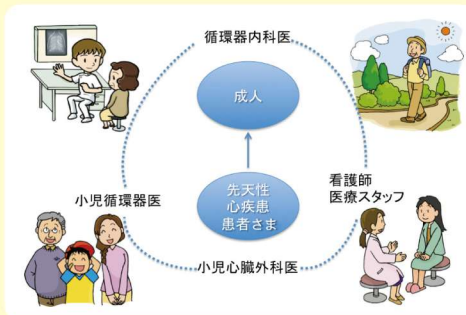
### 成人先天性心疾患外来



循環器内科 科長  
石坂 信和  
(いしざかのぶかず)

先天性心疾患は、生産児の約1%に発生するとされています。先天性心疾患の予後は劇的に改善し、成人期の患者さまも増加の一途をたどっています。一方、成人においても肺高血圧症、心不全、不整脈など解決すべき問題が少なくありません。肺高血圧症に対して、さまざまな薬物療法が可能になってきたこと、不整脈に対し、薬物治療のほか、ペースメーカーや、カテーテルによる治療法などが選択できるようになったことは朗報でしょう。

成人になられた先天性心疾患の患者さまの管理には、小児科、心臓血管外科などと密な連携のもとに、心理面のサポートという面も含めて循環器内科が果たす役割は、ますます大きくなってきています。今回わたしたちは、これらの診療科を横断的に統合し、適切な治療や管理を継続的に行うために、「成人先天性心疾患外来」を立ち上げました。さまざまな疑問・不安に対してベストサポートを心掛けて参りますので、ご活用いただければ幸いです。



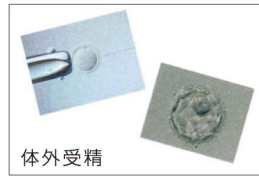


## 診療科名称変更のお知らせ 産科・内分科→産科・生殖医学科



産科・生殖医学科 科長  
亀谷 英輝  
(かめが い ひでき)

平成26年3月1日に「産科・内分科」の名称を「産科・生殖医学科」に変更しました。「産科・生殖医学科」は、産婦人科医療のなかで、妊娠・分娩に関するあらゆる疾患を扱う周産期分野と、不妊症に代表される生殖機能と思春期から更年期まで女性ホルモンに関わる疾患を扱う生殖内分科を担当します。また、平成23年から母体・胎児集中管理室(MFICU)を開設し、新生児集中治療室(NICU)と連携した地域周産期母子医療センターを稼働しており、大阪府の産科婦人科診療相互援助システム(OGCS)を中心に、24時間体制で緊急搬送を受け入れております。今後もスタッフ一同で頑張っていく所存ですので従来通り「産科・生殖医学科」を宜しくお願いいたします。



体外受精



胎児

### ◎医療連携室からのお知らせ

#### ■「連携医療機関登録制度」の登録募集

本院は地域の医療機関さまと連携して、今後より質の高い一貫した医療を患者さまに提供することを目的とし、また連携をとっていることを患者さまにお知らせし、安心して医療を受けていただくことを目的として、昨秋より「連携医療機関登録制度」の運用を始めました。平成26年5月1日現在で、183医療機関さまの登録があります。ご登録いただきますと、本院正面玄関には登録医療機関さまのお名前を掲示し(右写真)、また「連携証」を本院からご提供いたします。登録がお済みでない医療機関さまはぜひご検討ください。歯科クリニックさまのご登録受付も始めています。



#### ■「連携のつどい」の開催について

本年も連携医療機関さまとの意見交換の場として「連携のつどい」を開催します。

● 病院さま対象：8月30日(土) (予定) ● 診療所さま対象：10月2日(木) (予定) 詳細は別途お知らせいたします。

### 編集後記

父の死去から一年が経ち、遺産の整理が始まった。

預貯金や証券、生命保険などわずかな額が積み重なり世に言う相続となった。

私は、遠方に両親を残して今があり、看護や介護が充分ではなかったため、相続は辞退するつもりでいた。しかし、弁護士を通じてやりとりの中で、その考えが揺り動かされた。

私たちの存在は偶然の突発的なものではない。

脈々と続く長い歴史の中で、今まさに私たちの順番が回ってきて、そのバトンを受け取っている。で、あれば先人・先達の思いや考え、残された財産は正負問わず、引き受け継承していく義務・責務がある。

今まさに、私たちの順番なのだ。

プライベートであれ、公であれ、生きている私たちがその価値を高めていく使命がある。大きな流れの一時期を確かに引き受け、邁進しないといけない。

相続で受け取るべきは財産だけでない。それに気づかなかった。

季節が移り変わり、また新しい息吹があふれ、新緑の満ちた季節を迎えている。

年度が新しくなり、この部署でも新しい顔ぶれを迎えた。

爽やかな春風を精一杯吸い込み、また新たな気持ちで走り出したい。(M.M)



### 医療連携室ご利用のご案内

#### ■ 医療連携室「FAX紹介申込書」受付時間

平日／8:30～20:00

土曜日／8:30～12:00

※第2・第4土曜日は休診です。

※FAX受信は24時間可能(休診時も含む)。

但し受付時間以外の受信については翌診療日以降の対応となります。

#### ■ 送信先

FAX.072-684-6339

大阪医科大学附属病院 広域医療連携センター医療連携室  
〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7

TEL.072-683-1221(大代表)内線2308

TEL.072-684-6338(医療連携室直通)

● 本院専用のFAX紹介申込書及び封筒をご用意しております。お手数ですがご利用の場合は、電話又はFAXにてご請求ください ●